

大会競技規則ならびに申し合せ事項

- 1, 試合は組合せ表のとおりとする。
- 2, 組合せ表の最初に記載されたチームは、スコアラーズテーブル(T.O)からコートに向かって:
 - ・スコアラーズテーブルの左側(ユニフォームは淡)を自チームのベンチとし、
 - ・ゲーム開始前のウォームアップを自チームのチームベンチ前のハーフコートで行う。ベンチ入りは、選手(15名以内)・ヘッドコーチ1名・アシスタントコーチ1名・マネージャー1名
チーム関係者の合計19名以内とする。
- 3, ユニホームの番号はできる限り連番とする。
- 4, メンバー表を前の試合のハーフタイムまでに、オフィシャル(以下、T・O)に提出すること。
第一試合目については試合開始10分前に提出すること。
- 5, 試合時間は1日目は、5分-1分-5分(3分)5分-1分-5分とする。
2日目・3日目は6分-1分-6分(5分)6分-1分-6分とする。
タイムは審判のすべての笛で止まる。
- 6, 予選リーグ、トーナメント戦ともに、同点で試合が終了した時は、2分後に3分間の延長を行う。
第4クォーター終了時のファウルは継続する。
3分間の延長で、得点と同じならば、繰り返し行う。
なお、タイムアウトは各延長時限に認められる。
- 7, 予選リーグで3チームの勝敗が同じになった場合は次の順番で順位を決める。
 - ①ゴールアベレージ(総得点÷総失点)
 - ②得失点差(総得点-総失点)
 - ③総得点の多い方
 - ④コーチによる抽選
- 8, テーブルオフィシャルは、予選リーグ、擲戦、決勝トーナメントと共に対戦表に記載されている通りとする。
※ルール改正に伴い、T.Oの後ろには、必ず指導者やT.O担当の大人がついて管理してください。
- 9, 1日目の各会場の審判については、対戦表に記載の通りとする。
2日目・3日目については、大会本部で審判を割当てる。なお、帯同審判を割当てることもある。
- 10, 第1クォーター・第3クォーターに出場する選手は、審判が1分前の合図をしたら直ちに、
また第2クォーター・第4クォーターに出場する選手は、前クォーター終了直後に
テーブルオフィシャルに出場選手を報告しなければならない。
- 11, 試合時間を10分過ぎても対戦相手が来ない場合は、不戦勝(20対0)とする。
- 12, 試合時間が遅れた場合は、前試合終了後10分後に開始する。
ただし、4チームブロックは、連続試合及びTO後の準備のため20分後とする。
- 13, キャプテン・プレイヤー・チーム関係者は、いかなる場合も審判の判定に抗議できない。
コーチ等は、ベンチマナーに十分注意し、審判の判定に対して不作法に不服を言うような行為はしない。
(JBA プレコーリングガイドライン 2019.0401 訂正版資料 4 の対処を行う。)
- 14, やむをえず選手の変更をする場合は、当日の朝大会本部に申し出て承認を受け、試合開始前に
審判及び対戦チームに報告をする。
- 15, 競技規則は、現行日本バスケットボール協会競技規則及びミニバスケットボール適用規則を準用し、
マンツーマンディフェンスを推進する。なお、決勝戦は、マンツーマンコミッショナーを配置する。
- 16, 試合球は株式会社モルテンの人工皮革5号ボールを使用する。
- 17, 体育館は、全て土足禁止とし、各自で室内用靴、またはスリッパ等を用意する。
また、各チームのウォーミングアップの場所は外になるので外靴を用意する。
- 18, 喫煙は、所定の場所で行い、吸殻および火の後始末を確実に行う。(指定場所以外すべて禁煙とする。)
- 19, ごみ等は各チームで責任を持って持ち帰り、会場が「使用前よりも綺麗に」を心掛ける。
- 20, 1日目、2日目の結果は、印旛郡市ミニバスケットボール連盟HP(21:00頃～)をご覧ください。
- 21, 駐車場に限りがありますので、車での来場は1チーム4台以内としマイクロバスでのご来場は
ご遠慮ください。(会場場校への直接の問い合わせは、ご遠慮ください。)